

保護者様

西宮市立深津小学校

子どもたちの確かな学力を育むために ～学力テスト結果と子どもたちの生活との関係から～

2年生から6年生が、4月に西宮市の学力テストを実施しました。学力テストの結果から、今後、より一層確かな学力を育むために、学校で取り組んでいこうと考えていることや各ご家庭で協力していただきたいことについて、報告します。

1. 学力向上の取り組みの成果が出ています。

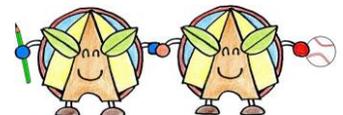
全体的に、どの教科も到達目標を上回っている傾向が見られました。大きく伸びがみられる項目も増えてきました。

授業での複数指導、かがやきタイム、のびっこ、「めのか」の姿勢や「聴く」ことを大切にしていた授業など、本校で日頃から取り組んでいることで成果が表れていると思われます。また、「ねうちカード」の取り組みなど家庭で協力していただいていることで、生活習慣が身につく、規則正しい生活をしている子が増えています。そのことが、学力テストの結果にもつながっているようです。

2. 深津っ子の課題とつきたい力

【学習面の課題】

- 聞き取り問題では、話の流れや細部が聞き取れていない。自分の経験から想像して答えることがある。
- どの教科においても、長い文章を読み取ったり、問題の題意を読み取ったりすることが難しい。勝手に思い込んだ答えを書くことがある。
- 自分で文章を組み立てて説明することが難しい。
- 語い(理解したり使ったりすることができる言葉)が少ない。
- 辞書(漢字・国語)の使い方に慣れていない。



【学習面でつきたい力】

- 日常生活経験を増やしたり、周りの様子に関心を持たせたりして、一般的な知識や理

解をする力をつける。

- 日常的に学校や家庭で、自分の言葉で説明する力をつける。
- 人との対話(学校や家庭で)や読書の機会を増やし、語いを増やす。

【生活面の課題】

- 生活アンケートなどとの関連から、宿題・学習用具の忘れ物が多い子、授業に集中できる体力・気力がない子は、学力が伸びにくい傾向がある。
- 就寝時刻の遅い子は朝食をとりにくい傾向にあり、学習したことが定着しにくい傾向にある。
- テレビ・ゲームの時間が長く、読書量が少ない子は、不注意や勘違いなどが誤答の原因となる傾向がある。

生活習慣を整えることと学力向上は密接な関係があります。

【生活面でつきたい力】

※学習する時間・場所がだいたい決まっている。

- 学校の時間割のように、たまかな一日の時間の流れ(学習、明日の用意、就寝、起床、食事などの時刻)を決めて生活をし、それが当たり前のようにになると、規則正しい生活ができ、時間の使い方が身に付きます。また、宿題をしたり提出物を確認したりする時間が決まっているので、忘れることも少なくなります。
- 余裕をもった時間の過ごし方ができるようになると、気持ちにも余裕ができ、しんどいことにも踏ん張ろうとする体力や気力が身につきます。

※学習用具を整える。

- かばんの中を整理して、翌日の時間割を確認、筆箱の中の鉛筆を削るなど、翌日の学習用具(筆記用具など)の点検、整備をしておく、気持ちよく学習に向かうことができます。
- 学校に持ってくるものは、遊び心を誘わない学習に適したものにしましょう。

※ゲームやテレビのルールを作る。

- 時間を決めず、「したいだけ」「見たいだけ」の生活を送っていると、家庭での学習する時間が決まらず、学習が二の次になってしまいます。また、就寝時刻にまで食い込み、翌日の生活にも影響を与えることになります。
- 就寝時刻の一時間前には、ゲームやテレビ、スマホなどの画面を見ないようにしましょう。

「一日のスタートが気持ちよくきれる」これが大切です。

4. 学校でしていくことと家庭にお願いしたいこと

《学校でしていくこと》

- 「聴く」こと、「表現する」ことを大切にした指導
- 友だちとの学び合いや、教え合いを大切にした指導
- 言葉にこだわった指導と積極的な辞書の活用
- 「のびっこ」などの時間を使った繰り返し復習
- 「読み」「書き」「計算」の宿題の徹底
- ICT機器の効果的な活用

《家庭にお願いしたいこと》

- 家庭での時間を自分で管理できるように…
 - ・決まった時間に決まった場所で学習を
 - ・学校の用意は前日に(時間割を合わせ、筆記用具を整えておくようにしましょう。)
 - ・ゲームやテレビのルール作りを(寝る時刻の一時間前には終わるようにしましょう。)
 - ・睡眠時間の確保を ・「ねうちカード」で、1日の生活のふり返りを
- 家庭での学習は静かな環境で、ていねいに…
 - ・学習は、じょうぎや辞書の使用を
- 家族のだんらんの中で…
 - ・会話を大切に
(単語で用件を伝えるだけでなく、主語や述語のある文章での会話を)
 - ・テレビのニュースや新聞の記事を家族で話題に
- 読書(「親子読書週間」の取り組みも)やお手伝いを大切に

生活リズムの貯金は一生の宝です。

低学年のうちから、規則正しい生活を毎日こつこつと続けていくことが大切です。

次の資料を参考に取り組んでみてください！

- 「深津小学校で大切にしていきたいこと」(5月の学級懇談会時配布)
- 「深津っ子ぐんぐんプラン」(右頁にも一部を載せています。)

※どちらの資料も、深津小ホームページ内の「大切にしていることその1」にあります。

深津っ子ぐんぐんプラン3

家庭生活の目安をこう考えます。

深津っ子ぐんぐんプラン3は、深津小学校が考える「家庭生活の目安」です。就寝時刻と家庭学習の時間について提案します。

【就寝時刻】

1～3年生は9時、4～6年生は10時と考えています。これは、起床時刻や必要な睡眠時間を考えて設定しています。子どもたちの会話を聞いていますと、かなり遅くから始まるテレビ番組のことが話題になることがあります。学校が始まる時刻は決まっています。そこから逆算していけば起床時刻は概ね同じ時間帯になるはずですが、集団登校に間に合うように起きているか、日中ボーッとしていないかなど、子どもの様子を見ていただいて、限りなく9時、10時の就寝時刻に近づけたらと考えています。

【家庭学習の時間】

1・2年生……まず宿題を丁寧にするをめざしてください。そして、家族と一緒に仕事をするなどの経験を大切にしましょう。その上で、宿題以外の学習が一つプラスされるようになればいいですね。

3年生……宿題+20分以上

4～6年生……宿題+30分以上

深津っ子ぐんぐんプラン5

家庭学習に向かう姿勢をつくりましょう。

《家庭学習をがんばるために》

①かばんの中を全部出して、学校からの手紙や連絡を、家の人に渡しましょう。

家の人がおられないときは、約束の場所に置いておきましょう。

②学習する場所を決めてやりましょう。机の上は、整理整頓されていますか。

③時間を決めてやりましょう。

④集中してやりましょう。

お菓子を食べながら、テレビを見ながらの「ながら勉強」は効果が上がりません。

⑤学習が終わったら、すぐに次の日の用意をしましょう。

1年生であっても、6年生であっても、こういった習慣を身につけることは大切なことです。こんな習慣は落ち着いて学習をする姿勢づくりに大きな影響があります。生活のメリハリ、忘れ物、全ては、こんなちょっとした習慣づけから始まります。ご家庭でも、例えば、「あなたが、帰ってきたときには、お母さんは仕事でいないけれど、手紙や連絡帳はここに置いておくことに決めておこうね。」といった約束をしていただくなど、ご協力をお願い致します。



深津小学校の
ホームページも
よろしくね!!